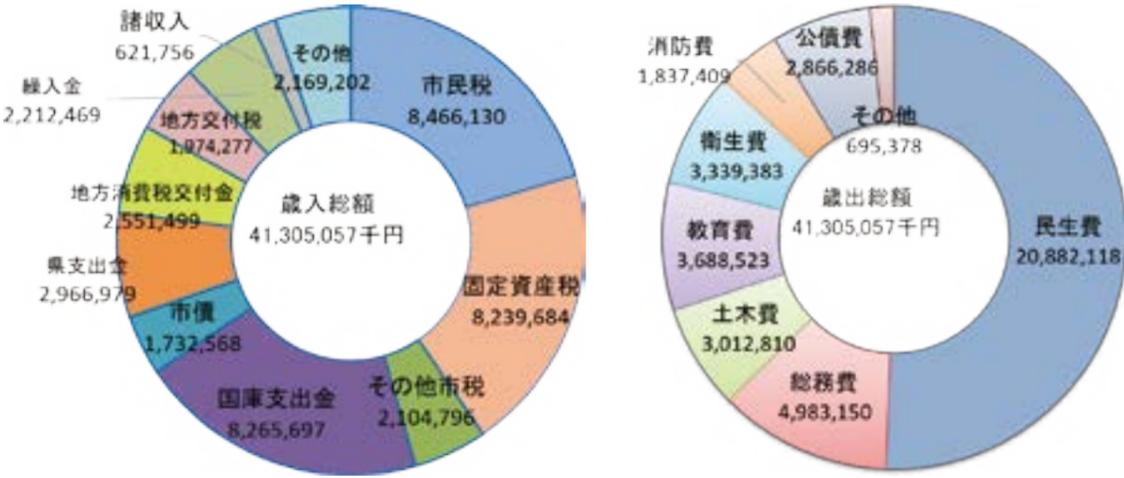


## 令和3年度一般会計歳入歳出予算構成比



令和3年第1回定例会は、2月19日から3月22日までの日程で開催され、当局提出議案34件を審議し、すべてが可決・成立しました。また、2月26日、3月1日、2日には本会議にて一般質問が行なわれ、「自民党・いさま」からは6名の議員が登壇し、市政全般について質問しました。

★質問事項については裏面記載

## 令和3年度当初予算などが成立 職員一丸で編成された予算を評価

今定例会で可決・成立した議案のうち令和2年度座間市一般会計補正予算(第19号)では、各部署職員が執行管理を徹底することにより捻出された不用額に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い執行できなかった経費について、減額補正を行うことにより生み出された財源を、財政調整基金に積み立てています。その結果、同基金は平成29年度末以来3年ぶりに20億円を超える、21億3千万円余の残高が確保され、次年度の当初予算に対して、年度間の財源調整機能が発揮されています。

また、国や県から積極的に情報収集し、小・中学校の施設整備事業、市道の舗装整備事業及び公園施設の改修事業について、令和2年度補正予算で見込まれた補助金を活用し、令和3年度に予定していた工事

を前倒し、当初予算の負担軽減が図られています。令和3年度座間市一般会計予算は歳入の根幹である市税は新型コロナウイルス感染症の社会・経済への影響などから減収が見込まれました。同感染症による影響に伴い扶助費等の増が見込まれることから、予算編成は厳しいものになると想定をしていましたが、国庫支出金などの特定財源を可能な限り確保し、国の令和2年度補正予算で組まれた補助金を活用し、次年度に計画していた事業を令和2年度

## 令和3年第2回定例議会日程表

5月28日(金) 開会・提案説明・総括質疑  
6月4日(金)・7日(月)・8日(火) 一般質問  
21日(月) 討論・採決・閉会

### 各常任委員会の開催日

予算決算：5月28日(金)、6月16日(水)  
企画総務：6月10日(木)  
民生教育：6月11日(金)  
都市環境：6月14日(月)



定例会の内容は録画中継で確認できます

\*新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴はなるべくお控えください

に前倒しするなど、当初予算の負担が軽減されています。

**主な事業について**

主な事業としては、遠藤前市長在任中より、福祉部の職員皆さんを中心として温めてきた「児童発達支援センター整備事業費」1209万円が計上され、児童発達支援センター設置に向けて、移転予定地の現地の設計が実施されます。また、拡充事業では「小学校情報教育環境整備事業費」1億8830万円が計上され、令和2年度に整備した学習用タブレット端末等(1人1台)を用いた授業に取り組み、情報通信技術を活用した教育が更に推進されます。

さらに、継続事業では「母子健康包括支援事業費」1453万円が計上され、妊産婦健康診査、産後ケア、乳幼児の各種健診、相談事業を実施し、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実が図られています。

これらの事業が第四次座間市総合計画を基本とし、令和3年度及び令和4年度を計画期間とする「座間市市政運営指針」で掲げる政策の実現のために盛り込まれました。ただ、ほぼ全ての事業が佐藤市長の就任前から決定していた、或いは継続される事業です。令和3年度予算編成にあたっては、コロナ禍により財政が厳しい中、職員の苦勞が詰まった予算編成と理解し、当局提出議案に賛意を表しました。

## 一致団結！ 自民党・いさま議員団

市政に対するご意見ご要望をお聞かせください。



京免 康彦  
☎ 252-0760



吉田 義人  
☎ 258-0965



荻原 健司  
☎ 090-8942-8753



竹田 陽介  
☎ 252-2036



熊切 和人  
☎ 090-3108-8176



高波 貴志  
☎ 090-7213-9299



内藤 幸男  
☎ 216-8083



清水 剛  
☎ 090-9837-5486

市長の役割と議会の責任

令和3年第1回定例会では、市長就任後初めての予算議会であり、市長の政治姿勢を問う質問が目立った。この前提には、議員と市長の役割が関係していると考えると同時に、佐藤市長においては、市政を担うべき市長としての役割の重要性を理解できないまま、これまでの議員としての感覚で市長職を担おうとしている可能性が考えられるからだ。

いうまでもなく、議員（議会）と市長の関係は「二代表制」と呼ばれ、双方とも選挙で直接選ばれるものの、議員と市長に与えられている権限、求められる役割は大きく異なる。

まず市長に与えられている大きな権限は「執行権」である。市民にとって必要な行政サービスを提供するために、予算や事業等を執行できる権利だ。翻り、議会に与えられている権限は「議決権」である。市長から提案された予算や事業、さらに条例等の是非について議決する権限である。こうした異なる役割、権限を持つ市長と議員が議会の場を通じ相互牽制し、時には連携していくことで市政の進展と市民福祉向上が実現する。

特に今定例会で市長の姿勢が問われたのは、佐藤市長が昨秋の選挙戦で市民へ約束した「公約」である。「公約」とは市民に政策を述べ、その実現を約束するものである。市民としてもその公約を評価し、期待感を持って信任をしたものとする。それだけにその責任の重さははかり知れない。

佐藤市長においては、議員として約16年もの間、座間市政に深く関わる立場で活動をし、座間市がおかれている財政状況やコロナ禍での社会・経済状況の厳しさについて十分に理解していたはずであり、その中で、市民が感じている課題などを解決するため、数多くの公約を掲げたと推察する。議会としては、近年の財政状況、さらにはコロナ禍で無責任な美辞麗句が許されない中で、市長が掲げた数々の公約をどのように新年度予算に反映させていくのか明らかにする必要があった。

それらに対する答弁で佐藤市長は、公約や政策への考え方について、「寄せられた市民の声を掲載した」、「実現を『目指すべき』ものだ」、「公約は職員が実行するもの」といった発言をしており、この言葉からは、財政状況について十分な分析や今後の見通しを考えていないと言わざるを得ず、公約を掲げた者の責任の重さを認識しているとは考えにくい。

市長が掲げた公約の中で特に市民から期待が大きかった個別事業についての市長の見解を紹介すると、中学校給食については、「予算や学校日課、調理設備など事前に教育委員会や学校等と十分協議が必要。また、給食室を整備する関係から公共施設再整備計画も考慮する必要がある」と答弁し、早期に着手する考えを示されなかった。また、教育委員会では予算的な問題やアレルギーの課題などから現状の選択式給食を推奨しており、市長と教育委員会の調整が図られていない様子も伺えた。

つぎに小児医療費助成の拡充については、「全国統一的な対応が図られるべきだと考えている」と、佐藤市長主導により、市単独で実現する考えが無いことが明らかにされた。さらに、保育園の待機児童解消については、「座間市第四次総合計画の中では平成32年に待機児童ゼロを目指して取り組んでおりますので、できるだけ早い段階でこの目標が達成できるように努力をしたい」と事務的な答弁に留まり、具体的政策や市長自らの政治決断は一切見られなかった。

加えて、市長が公約を実現できたと胸を張る、児童発達支援センターの設置や児童・生徒への1人1台タブレット端末の導入などは、既に遠藤前市長時から職員を中心に長時間かけて協議がなされ、事業決定していたことであり、残念ながら佐藤市長が公約を具現化したものとは考えにくい。

結果、これらの発言に象徴されるように市民の期待は大きく裏切られる可能性があり、政治家としての資質が問われる事態を自らが招いていると感じざるを得ない。

我々『自民党・いさま』は地域に根付き、市民第一主義を持って活動をしている会派である。だからこそ、市民の為になすべきことは強く主張し、実行を求め、悪しきものであれば正して行く姿勢で日々取り組んでいる。これからも佐藤市長が13万市民に約束した公約に責任を果たされることを強く求め、今後も公正・公平を旨として、是々非々の姿勢で市政に寄与していくことを誓う。



東原小学校で行われたタブレット端末の貸与式

令和3年度新規要望事項

行政改革の推進

- ▽業務改革の必要性からRPA、OCRと組み合わせたシステムを導入し効果の検証
- ▽人事評価専用システムの導入
- ▽よくある問合せに対しFAQシステムを導入及び対応履歴管理のシステムの導入
- ▽公共施設使用料支払いに電子決済の導入

広域行政の推進

- ▽隣接する自治体との連携強化
- ▽さがみ野駅周辺の新たなまちづくりを近隣自治体及び相鉄と連携強化
- ▽広域連携に伴う課題の把握をし、所管する部署の創設
- ▽広域連携に関するアンケート調査(10分野【防災、環境、高齢者、子ども、学校、農業、スポーツ、生涯学習、図書館、交通】)の実施
- ▽神奈川中央交通のバス券と座間市コミュニティバス回数券との相互利用

産業の育成

- ▽コロナウイルスにより疲弊した地域商店街の活性化支援

- ▽生産者と消費者の交流促進を図り、地産地消を推進

消防・防災・防犯

- 消防**
- ▽消防職員などが戸別訪問し、防災用品の配布・家庭内の防災をアドバイス
- ▽消防団員の新規団員が確保できない対策として、分団部ごとの定年延長や災害時のみ活動する消防団OBを活用した消防協力員制度の導入
- 防災**
- ▽情報弱者解消に繋がる防災ラジオの整備
- ▽避難所へのペット同行・障がい者への支援等、地域社会における認識の向上
- ▽災害時等の帰宅困難者対策の充実、要援護者の把握・連携の効率化
- 防犯**
- ▽相模が丘6-37付近の下水道用地入口へのフェンス設置
- ▽座間1-3子供広場(座間不動尊広場)への防犯カメラの設置

医療・福祉

- ▽相模が丘ふれあいネットワーク運営に対する支援

教育

- ▽小中学校グラウンドへのスプリンクラーの設置
- ▽相模が丘小学校グラウンドフェンスの高尺フェンスへの交換
- ▽遠隔教育の対応に向けた指導体制の整備
- ▽小・中学校体育館の空調設備の導入検討
- ▽西中学校屋内トイレの全面改装

塵芥施策

- ▽ごみ集積所の管理者及び利用者の把握と適正管理
- ▽資源回収センターの設置

基地政策

- ▽自衛隊募集相談業務への積極的な対応

その他

- ▽空家の実態調査を基にした空家等対策計画の策定(空家解体・利活用への補助金整備)

★令和3年第1回定例会の一般質問★

(京免 康彦)

1. 市内郵便局との包括連携協定について
2. 市道栗原中央73号線から市道栗原中央77号線までを含む区間の未舗装部の舗装整備について
3. 自治会の活動をサポートする地域ICTプラットフォームについて

(清水 剛)

1. 地域活動支援センターについて

(萩原 健司)

1. 小田急相模原駅周辺地区都市再生整備計画について
2. 郷土愛を育む取組について
3. 自治会など、地域団体との連携について
4. 市長の政治姿勢について

(高波 貴志)

1. 市長の政治姿勢について
2. プレミアム付商品券事業について
3. 歩行者横断点減速の設置について

(熊切 和人)

1. 防犯カメラの運用と補助金制度、安全で安心に暮らせるまちづくりについて
2. 市制施行50周年を友好交流都市の大仙市(大曲)の花火で祝おう
3. 市長の政治姿勢、公約、所信表明について

(内藤 幸男)

1. 市制施行50周年記念事業について
2. 新型コロナウイルスによるイベントへの影響について
3. バリアフリー法改正による学校の取組について